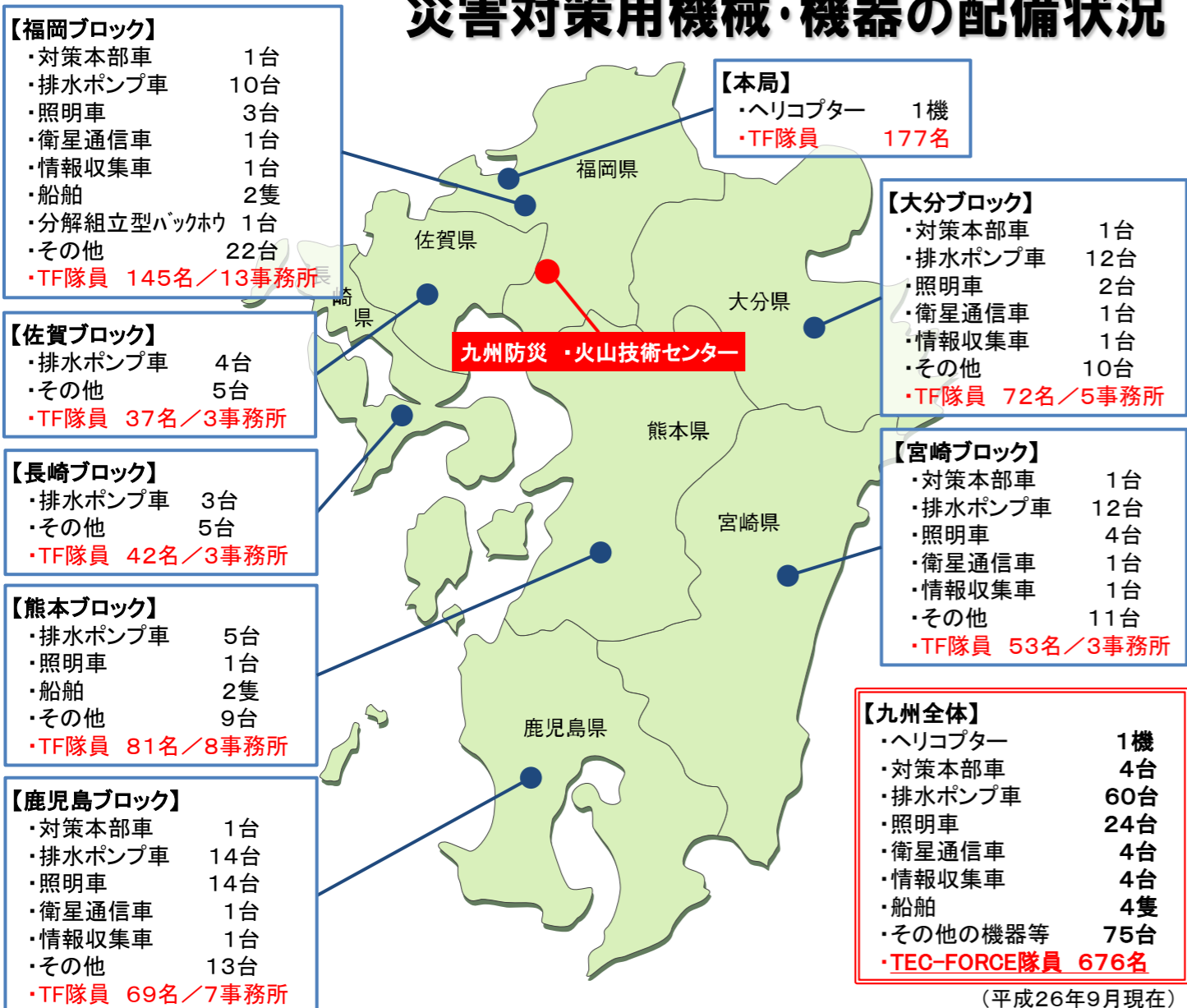
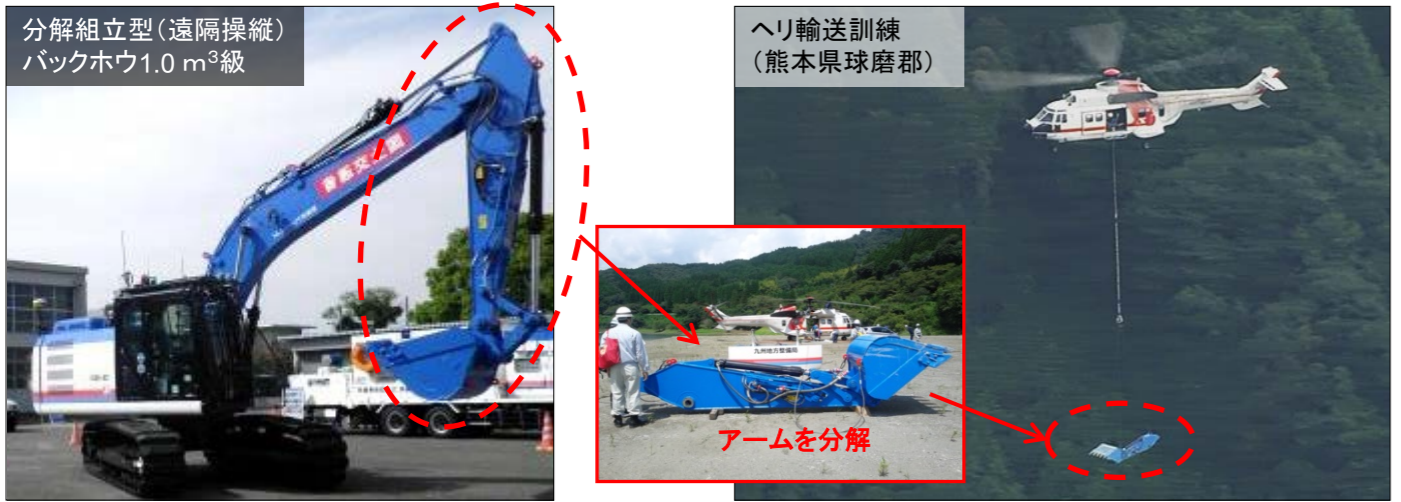


# 各ブロックのTEC-FORCE隊員数と 災害対策用機械・機器の配備状況



◎最新鋭「分解組立型(遠隔操縦)バックホウ」を九州で初めて導入。(平成26年3月)



# Front Line 国土交通省 九州地方整備局

## 九州地方整備局の防災力向上の取り組み ～ 南海トラフ巨大地震等への備え～

### ～九州の多様な災害リスク～

九州地方は、地形・地質・気象などの自然条件から、大型の台風襲来や前線豪雨による風水害、土砂災害、活発な活動を続ける火山の噴火災害などが発生しやすい国土となっています。加えて、南海トラフ巨大地震が発生した場合、地震・津波により九州東側沿岸部を中心に広域かつ甚大な被害が発生する恐れがあります。

九州地方整備局では、このような大規模災害に備え、九州全体の総合的な防災対応力の向上が図れるよう、防災関係機関や地方公共団体等とも連携し、防災力向上の取り組みを行っています。



## 九州地方整備局防災訓練(地震・津波) [平成26年9月1日]

南海トラフ巨大地震の発生を想定し、九州西側の事務所等から、東側被災地へ TEC-FORCE隊員 約100名、災害対策車両 3 5台を派遣する実動訓練を九州で初めて実施。



# 南海トラフ巨大地震への備え ～関係機関との連携による防災力向上～

## ■ 関係機関(海上保安庁、自衛隊等)との連携

◎海上保安庁 第十管区 海上保安本部 巡視船「さつま」への、九州地方整備局災害対策用ヘリコプター「はるかぜ」の着艦訓練 [H26年5月23日]



九州地方整備局  
災害対策用ヘリコプター「はるかぜ」



海上保安庁  
第十管区 海上保安本部  
巡視船「さつま」

◎平成26年度自衛隊統合防災演習(26JXR)へ参加 [H26年6月2日～6月6日]



関係機関への被害状況報告



国土交通省独自回線による被害状況把握

◎海上自衛隊輸送艦「おおすみ」での災害対策用機械の輸送訓練



鹿児島港より乗船  
(情報収集車)



奄美港下船  
(衛星通信車)

鹿児島港から奄美港までの輸送訓練  
(平成25年度 鹿児島県総合防災訓練)

## ■ 自治体との連携強化 ～各県・政令市等防災訓練～

大規模災害時に円滑な防災対応により被害の最小化が図れるよう、総合防災訓練等で関係機関と連携した実動訓練を実施 (写真は平成26年度)



排水ポンプ車による緊急排水訓練  
(筑後川・矢部川総合水防演習)



建設業協会等と連携した道路啓開訓練  
(熊本県・天草市総合防災訓練)



調査観測兼清掃船「海煌」による航路啓開訓練  
(鹿児島県総合防災訓練)



衛星回線(衛星通信車)を利用した通信確保訓練  
(熊本市総合防災訓練)



情報収集車による情報収集活動状況  
(熊本県・天草市総合防災訓練)



無人ヘリによるTEC-FORCE被災状況調査訓練  
(宮崎県総合防災訓練)